

リニアトンネル工事で発生した掘削土のうち、現在、発生土仮置き場E（小渋川変電所予定地）に仮置きをしている要対策土（※自然由来重金属等の環境基準値を超過した掘削土）について、大鹿村リニア連絡協議会においてJR東海からリニア長野県駅（飯田市内）に運搬・活用する計画が示されましたが、運搬計画が具体化したため、その概要をお知らせします。

## 運搬計画について

運 搬 先：中央新幹線長野県駅新設工事（飯田市上郷飯沼・座光寺地区）

運搬土量：合計 5,000m<sup>3</sup>

※活用先の工事工程に合わせて、3回に分けて運搬します。

運搬期間：（初回）6月上旬～7月下旬

※2回目は令和8年夏頃、3回目は令和9年冬頃に予定しています。

運搬台数：1日あたり片道15台程度

※工事進捗や天候等により変動することがあります

運搬経路：県道松川インター大鹿線、松川町道洞新線、国道153号を往復通行

運 行 日：月～金曜日（祝日含む）

## 運搬時の安全対策、環境対策について

- ・通常土と同様、運搬はダンプで行い、荷台には防塵シートを敷設して、飛散防止対策を徹底します。
- ・今回は、活用先の工事方法に伴い、出発地であらかじめ大型土のうに要対策土を入れたうえで運搬します。
- ・発着地において、ダンプのタイヤを洗浄します。
- ・降雨時や降雨が予想される場合は、要対策土の運搬は休止します。
- ・要対策土の運搬を終了したダンプが、新たに通常土を運搬する場合は、事前にダンプ荷台を洗浄します。



（大型土のうをダンプに積載した状況）



（要対策土を運搬する時の状況）

## 【本件に関するお問合せ先】

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線長野工事事務所（大鹿分室）

住所：下伊那郡大鹿村大河原 381-1 電話：0265-39-2975